J-B アルティメッド　ブラック　シリコン

安全データシート - JIS Z 7253：2019 準拠

発行日:2022.12.07

S.GHS.JPN.JA

セクション1　化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	J-B Weld アルティメッド　ブラック　シリコン
化学物質名	該当しない
同義語	
他の製品特定手段	32329,32929,32509

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	

供給者の詳細

供給者の会社名称	**J-B Weld Company, LLC**	**株式会社　隆成コミュニティ**
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States	東京都大田区蒲田4-18-27-801
電話番号	903-885-7696	03-5714-5561
FAX番号	903-885-5911	03-5714-5563
ホームページ	www.jbweld.com	www.ryusei-usa.com
e-メール	info@jbweld.com	info@ryusei-usa.com

緊急連絡電話番号

会社名	**InfoTrac**	**InfoTrac**
緊急連絡電話番号	Tokyo +81 3-6388-0366	For US and Canada (24 hour): 1-800-535-5053
その他の緊急連絡電話番号	データ無し	データ無し

セクション2　危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A, 発がん性 区分1B, 皮膚腐食性／刺激性 区分2, 皮膚感作性 区分1
凡例:	*1. Chemwatch*による分類; *2.* 日本 *NITE GHS* 分類データベースによる分類; *3. EC* 規則 *1272/2008* - 附属書 *VI*による分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	**危険**

危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H350	発がんのおそれ
H315	皮膚刺激

注意書き: 安全対策

P264	使用後は、手、肌、目などをきれいな水ですすぐことを推奨する。
P271	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P281	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

注意書き: 応急措置

P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P302+P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333+P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き: 保管(貯蔵)

P405	施錠して保管すること。
P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

注意書き: 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。

セクション3　組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
1333-86-4	＜1	パウダー１			データ無し
1317-65-3	＜25	パウダー２			データ無し
7631-86-9	＜10	パウダー添加剤		公表	データ無し
919-30-2	＜1	液体添加剤１		公表	データ無し
64742-46-7	＜10	液体添加剤２			データ無し
17689-77-9	＜5	液体添加剤３		公表	データ無し
22984-54-9	＜5	液体添加剤４	-	-	データ無し
96-29-7	＜5	液体添加剤５	-	-	データ無し
222４-33-1	＜5	**液体添加剤6**	-	-	データ無し
凡例:	*[e]* 内分泌かく乱作用をもつと認められている物質				

セクション4　応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	眼に入った場合： ▸ 直ちにきれいな流水で約１５分洗浄すること。 ▸ 洗眼は、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 ▸ 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 ▸ 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合: ▸ 直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 ▸ 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 ▸ 炎症がある場合には、医師の手当を受けること。
吸入した場合	▸ ガスや燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。 ▸ 患者を寝かせ、体を温めて安静を保つこと。 ▸ 義歯等の装具は気道を塞ぐおそれがあるため、可能であれば応急措置を施す前に取り外すこと。 ▸ 呼吸が停止している場合は、デマンドバルブ式人工蘇生器、バッグバルブマスク、ポケットマスクなどを使用して人工呼吸を行うこと。必要に応じて心肺蘇生を行うこと。 ▸ 病院または医師のもとへ速やかに搬送すること。

続く...

飲み込んだ場合	▸ まず口をゆすいで無理に吐かせたりさせないこと。 ▸ 懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5　火災時の措置

消火剤

一般的、標準的な消火を行う

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件	発火する危険性があるため、硝酸塩、酸化性酸、塩素系漂白剤、プール用塩素などの酸化剤による汚染を避けること。

消火活動に関する情報

特有の消火方法	▸ 特になし ▸ ▸ ▸
火災及び爆発の危険性	▸ ▸

セクション6　漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

直ちに換気をする

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合	▸ 目をゴーグル当で保護して手袋、安全な服に着替えて行う。 ▸
大規模漏出の場合	▸ 目をゴーグル当で保護して手袋、安全な服に着替えて行う。 ▸

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7　取扱い及び保管上の注意

安全な取扱のための予防措置

安全取扱注意事項	▸ まずはm出来るだけ換気を行う。吸入を含む、人体へのあらゆるばく露を避けること。ばく露の ▸ 可能性がある場合は、保護衣を着用すること。
他の情報	▸ 元の容器のまま保管すること。保管場所では、凍結や大量の湿度等には注意すること。 ▸ 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件	▸ ▸ ▸ ▸
避けるべき保管条件	▸ ▸ ▸ ▸ ▸

続く...

セクション8　ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

許容濃度(OEL)

成分に関する情報

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	二酸化ケイ素	粉末添加剤	15 mg/m3	データ無し	データ無し	7631-86-9
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	カーボンブラック	粉末１	3.5 mg/m3	データ無し	データ無し	1333-86-4
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	炭酸カルシウム	粉末２	15 mg/m3	データ無し	データ無し	1317-65-3
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	アルカン	液体添加剤２	５ｍｇ/ｍ３	データ無し	データ無し	64742-46-7
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）						
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）						
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）						
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）						
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）						

緊急ばく露限度

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3

成分	オリジナルIDLH	改訂IDLH

職業暴露バンディング

成分	職業暴露バンド評価	職業暴露帯域制限

ばく露管理

適切な工学的管理方法	▸ ヒトへの発がん性が認められた物質に暴露する作業員は、雇用者の指示の元で作業し、 規制区域内で作業を行うこと。 ▸ 「グローブボックス」等の隔離システム内で作業を行うこと。 作業完了時および隔離システム外での作業開始前に、手と腕を洗うこと。

続く...

個人保護措置	
眼/顔面の保護	▸ サイドシールド付きの保護メガネ。 ▸ ケミカルゴーグル。
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	**注記:** ▸ ▸ ▸ ▸
身体の保護	以下の他の保護具を参照してください。
他の保護	▸ ▸ ▸ ▸ ▸ ▸

呼吸用保護具

防塵マスク（AS/ NZS1716＆1715、EN143:2000＆149:001、ANSI Z88または国内同等規格）

セクション9　物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観	

物理的状態	自由流動性黒色ペースト	比重 (水 = 1)	1.427　g/cm3
臭い	データ無し	n-オクタノール/水 分配係数	データ無し
臭気閾値	データ無し	自然発火温度 (°C)	データ無し
pH (製品)	10.1	熱分解温度	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	粘度 (cSt)	データ無し
沸点/沸騰範囲(°C)	データ無し	分子量 (g/mol)	データ無し
引火点 (°C)	１００℃	味	データ無し
蒸発速度	データ無し Not Available	爆発性	データ無し
引火性	データ無し	酸化作用	データ無し
爆発範囲-上限(%)	データ無し	表面張力 (dyn/cm or mN/m)	データ無し
爆発範囲-下限(%)	データ無し	揮発成分 (%vol)	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	ガスグループ	データ無し
水溶解性	混ざらない	溶液のpH (1%)	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	データ無し	VOC g/L	データ無し
ナノフォーム溶解度		ナノフォーム粒子特性	
粒子サイズ			

セクション10　安定性及び反応性

反応性	セクション 7 参照
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	セクション 7 参照
避けるべき条件	セクション 7 参照
混触危険物質	セクション 7 参照

続く...

危険有害な分解生成物	セクション 5 参照

セクション11　有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	
飲み込んだ場合	
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合、皮膚炎を引き起こす可能性がある。 皮膚疾患がある場合、症状を悪化させることがある。 皮膚接触により、(EC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質とは考えられていない; 外傷、病変部または擦り傷を通じて体内に侵入すると、健康被害を引き起こすことがある。 炭化水素へのばく露は、不整脈を引き起こすことがある。中度の毒性が生じると、めまい、頭痛、吐き気が生じることがある。重度の毒性が生じると、肺機能が低下し、意識喪失または死に至ることがある。炭素数C4の炭化水素は、特に神経系に有害である。石油ガス（オレフィン不純物含有）の吸入は、眠気を誘発することがある。酸素濃度減少により、呼吸不全、精神障害、協調運動障害、思考力低下、吐き気および嘔吐を伴う重度のチアノーゼおよび窒息が生じることがあり、意識喪失および死に至ることがある。 開放創、擦り傷または炎症がある場合は、皮膚への接触を避けること。 切創、擦り傷または病変部などを通じて血流に侵入すると、悪影響を及ぼす全身性疾患を引き起こすことがある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる外傷を適切に保護しておくこと。
眼に入った場合	本物質が、相当数の人の眼に刺激を引き起こす可能性、および/または実験動物への点眼後、24時間以上も見られる重大な眼病変を生じる可能性があることを示唆する証拠がある、またはこれらのことが実際的経験により予見される。 反復または長期的な眼との接触により、結膜の一時的な発赤 (風傷に似ている) (結膜炎) を特徴とする炎症を引き起こすことがある; 一時的な視覚障害や他の一時的な眼障害/潰瘍が発生することがある。
慢性毒性	

内分泌かく乱特性

多くの化学物質は、内分泌系として知られる、人体のホルモンを模倣したり阻害したりすることがある。内分泌かく乱物質は、内分泌 (またはホルモン) 系を阻害する可能性のある化学物質である。 内分泌かく乱化学物質は、体内で自然分泌されるホルモンの合成、分泌、輸送、結合、作用、または分解・排泄を阻害する。ホルモンによって制御されている体内のシステムは、内分泌かく乱化学物質によって狂わされることがある。具体的には、内分泌かく乱化学物質は、学習障害の発生、さまざまながんおよび性的発達障害などの身体形態異常に関係している可能性がある。 内分泌かく乱化学物質は動物に悪影響を及ぼす。しかし、人体への潜在的な健康影響については、限定的な科学的情報しか得られていない。人類は通常、一度に複数の内分泌かく乱化学物質にばく露しており、公衆衛生への影響を評価することが困難であるためである。

	毒性	刺激性
パウダー 1	経口　LD50 Rat:1780 mg/kg	データ無し
パウダー 5	経口　LD50 Rat:2326 mg/kg	データ無し
	皮膚　LD50　Rabbit:> 1000 mg/kg	
		データ無し
		データ無し
		データ無し

続く...

毒性	刺激性
	データ無し

毒性	刺激性
	データ無し

毒性	刺激性
	データ無し

毒性	刺激性

凡例: *1.* 欧州*ECHA*登録物質 - 急性毒性 - から得られた値。 *2.* *の値は製造者の*SDS*から得られた値。 特に注記のないデータは*RTECS*から抽出した値。

急性毒性		**発がん性**	
皮膚腐食性／刺激性		**生殖毒性**	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**	
呼吸器感作性又は皮膚感作性		**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**	
生殖細胞変異原性		**誤えん有害性**	

凡例: ✗ – データ利用不可または、区分に該当しない
✓ – 分類済み

セクション12　環境影響情報

生態毒性

パウダー５

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	LC50 - Oryzias latipes-> 100 mg/L-96h	データ無し	データ無し	データ無し

パウダー５

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC-Oriziaas latipes -~50mg/L-14d			

パウダー５

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
		藻類または他の水生植物	> 可能性	

続く...

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典

凡例:	*1. IUCLID*毒性データ *2.* 欧州*ECHA*登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 *3. EPIWIN Suite V3.12 (QSAR)* - 水生毒性データ (予測) *4.* 米国環境保護庁, *Ecotox*データベース - 水生毒性データ *5. ECETOC*水生環境有害性評価データ *6. NITE* (日本) - 生物濃縮性データ *7. METI* (日本) - 生物濃縮性データ *8.* ベンダーデータ から抽出

金属について:

大気中運命 - 金属含有無機物質は一般に蒸気圧が無視できる程度であり、大気中に分配されることは期待されていない。

環境中運命: 酸化、酸または塩基の存在、微生物学的プロセスなどの環境プロセスは、不溶性金属をより可溶性のイオン型に転換する可能性がある。環境プロセスは生物学的利用能を高める可能性があり、溶解度を変える上でも重要である可能性がある。

残留性・分解性

成分	残留性: 水域/土壌	残留性: 大気
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	高	高
1,4-butanediol diglycidyl ether	高	高

生体蓄積性

成分	生物濃縮性

続く...

成分	生物濃縮性
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	低 (LogKOW = -0.9152)
1,4-butanediol diglycidyl ether	低 (LogKOW = -0.1458)

土壌中の移動性

成分	移動性
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	低 (KOC = 90.22)
1,4-butanediol diglycidyl ether	低 (KOC = 10)

内分泌かく乱特性

人体よりも環境中で、有害影響と内分泌かく乱化学物質とを関連付ける、より説得力のある証拠が見られる。内分泌かく乱化学物質は、生態系の生殖生理学を大きく変化させ、最終的には個体群全体に影響を与える。一部の内分泌かく乱化学物質は、環境中での分解速度が遅い。その特性により、長期間にわたって潜在的な有害性を有する。さまざまな野生生物種における内分泌かく乱化学物質のいくつかの十分に確立した有害影響には、卵殻薄化、異性的特徴および生殖発生障害の発現などがある。示唆されているが証明されていない野生生物種における他の有害影響には、生殖異常、免疫機能障害、骨格変形などがある。

セクション13　廃棄上の注意

廃棄方法

製品／容器／包装の廃棄方法	▸ 容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。 ▸ 可能な場合、適切な再使用／リサイクルのため、製造者に返送すること。 ▸ 製造者にリサイクルの可否を問い合わせ、可能な場合はリサイクルすること。 ▸ 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。

セクション14　輸送上の注意

要求されるラベル

海洋汚染物質	該当しない

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外

航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外

海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外

MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送

該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送

製品名	グループ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

ICG コードによるばら積み輸送

製品名	輸送タイプ
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し
	データ無し

続く...

セクション15　適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

労働安全衛生法	**名称等を表示すべき危険物及び有害物** **政令名称** / **政令番号** **製造の許可を受けるべき有害物** **政令名称**: 該当しない　**政令番号**: 該当しない **関連する法令・条例** **危険物 - 酸化性の物**: 該当しない **危険物 - 引火性の物**: 該当しない **有機溶剤**: 該当しない **特定化学物質**: 該当しない
化管法 -	**分類**: 該当しない　**政令名称**: 該当しない　**政令番号**: 該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない

続く...

化審法	優先評価化学物質	
	第1種特定化学物質	該当しない
	第2種特定化学物質	該当しない
	監視化学物質	該当しない
	一般化学物質	

国別インベントリ状況

国別インベントリ	状況
オーストラリア - AIIC /オーストラリア非工業用	
カナダ - DSL	
カナダ - NDSL	
中国 - IECSC	
欧州 - EINEC / ELINCS / NLP	
日本 - ENCS	
韓国 - KECI	
ニュージーランド - NZIoC	
フィリピン - PICCS	
米国 - TSCA	
台湾 - TCSI	
メキシコ - INSQ	
ベトナム - NCI	
ロシア - FBEPH	
凡例:	

セクション16　その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	08/31/2020

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
2.12.2.1	04/26/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/13/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/17/2021	分類, 環境, 成分, 品名

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。
SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。 掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。 暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。 使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。

ChemwatchのAuthorITeで作成しました。

以上